

# 競 技 注 意 事 項

- 2021年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
- 感染症対策に関して
  - 競技中・ウォームアップ中以外は、マスクを着用すること。
  - 手洗い・手指消毒の徹底。(各自、各チーム内でもご準備ください)
  - 集団での応援、声を出しての応援の禁止。(拍手での応援)
  - 体調チェック表の提出。(提出が無い場合は、出場できません)
  - 規定によるスタンドへの入場を認めるが、観戦ルール(別紙)を順守のこと。
- 招集について

- (1) 招集時間

トラック 競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので裏表紙の競技時間表を参照のこと
フィールド競技	

- (2) 招集所は、以下の通り。

トラック 競技	メイン競技場・第1ゲート外側招集場。
フィールド競技	投てき(第2ゲート外、倉庫)
	跳躍(第4ゲート) ・棒高跳(現地での招集)

- (3) 競技場への入場は招集完了後、小学生は選手誘導により入場します。招集後は指示があるまでその場で待機すること。中学生は競技進行と安全に注意し、競技場所に集合のこと。
  - (4) リレー種目はオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受ける。(オーダー用紙はTICにある。)
  - (5) 中学メドレーリレー及び混合リレーは、招集時に腰ナンバーカードを貸与するので、右腰斜め後方に着用すること。レース終了後、係員に返却すること。
  - (6) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた者は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出る。
  - (7) 電子機器類の競技場への持込を禁止する(携帯電話、ミュージックプレーヤー、スマートウォッチ等)。招集所で持ち物をチェックする。
4. スパイクピンはオールウェザー用の9mm以下を厳守のこと。但し、中学生の走高跳は12mm以下とする。(大会要項に記載あり)
  5. 競技用シューズの靴底の厚さは、以下の通り。厚さを越えるシューズは使用出来ません。
    - ・トラック種目(800m未満) 20mm
    - ・フィールド競技 20mm
  6.
    - ・トラック競技は予選上位8人(チーム)で決勝を行う。
    - ・中学生フィールド競技はトップ8方式で行う。
  7. 小学生のフィールド競技は下記のとおりで実施する。
    - ・走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。パスを行なうことができる。
    - ・走幅跳は2回の試技を行い、上位8人によりさらに2回の試技を行なう。
    - ・ジャバリックボール投の助走距離は15m以内とし、試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。(羽だけを持って投げることは禁止する) 試技は3回とする。

8. リレーについては次のとおりとする。

- ・リレーとフィールド競技を兼ねる選手は、リレーを優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判に申し出て許可を受けること。
- ・小学生の混合リレーは、5・6年生の男子2名、女子2名で編成し、走順は自由とする。
- ・中学生の混合リレー（4×200mR・4×600mR）の第1・第2走者は女子、3・第4走者は男子とする。
- ・ユニフォームは同一色のものとする。ただし、セパレートタイプとランシャツ、ランパンとスパッツに関しては、それぞれ同じとみなす。
- ・小学生リレーの補欠の選手を対象に友好レース（100m）を実施する。病気等により、当日、リレーメンバーが不足し棄権となったチームの選手についても友好レースに出場できる。
- ・友好レースに出場を希望する選手は、**10時までにTIC**に申し込むこと。

9. バーの上げ方, 計測ラインについて。(天候等により変更あり)

<走高跳中学生>	(練習)	(開始)							
男子	1.50	1.60	1.75	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	(以後 3cm)
女子	1.30	1.40	1.50	1.35	1.40	1.45	1.48		(以後 3cm)
<走高跳小学生>	(練習)	(開始)							
男女		0.90	0.95	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	(以後 5cm)

<棒高跳>	(練習)	(開始)							
男子	2.90	3.40	3.90	3.00	3.10				(以後 10cm)
女子	1.50	2.00	2.50	1.60	1.80	1.90			(以後 10cm)

<フィールド計測ライン>

1回目の試技後、計測ラインを設定し選手に伝える。

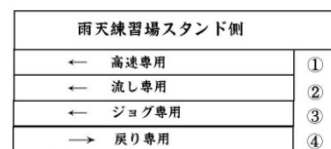
10. 投てきの練習は、競技場所で競技開始前に行うので、競技場周辺や補助競技場での練習は厳禁とする。

11. 第二競技場の使用方法

- ・競技注意事項を熟読し、厳守すること。
- ・チームのコーチ及び指導者以外は、補助競技場には入場厳禁とする。
- ・小学生の指導者は、IDで規制する。

12. 雨天練習場については下記を守ること。

- スタンド側の1レーンは、高速専用とする。
- 2レーンは流し、3レーンはジョグ専用とする。
- 外側のレーンは戻り専用とする。
- オールウェザー部分上にチームのベンチを設置することを禁止する。
- 多目的グラウンド(旧補助競技場)側アスファルト通路部分は中学生ベンチとして使用を認める。



柱 柱 柱  
オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

13. 競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。

14. 競技会での怪我は応急処置のみで、以後の責任はもたない。

## 15. その他

- メインスタンド1階は関係者（選手・役員）以外立ち入り禁止とする。
- メインスタンド15列目より上を、小学生チームベンチとして使用することができる。（ブルーシート使用禁止）
  - 14列目までは中学生応援席として開放するがソーシャルディスタンスの保持及びマスク着用とする。
- 横断幕は芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。（最前列は禁止）
- 競技場・スタンド席とも汚さないように気をつけ、ゴミは各チームで責任をもって持ち帰ること。
- 更衣室の利用は、TICでIDカードを受け取り利用すること。
- 貴重品等、持ち物の保管は各自で責任を持つこと。
- 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト近く及び外周を通り退場すること。
- 2階コンコースは中学生用のとしてベンチの設置を認める。防水塗装保護のため、ベンチを設置する場合は粘着テープの使用は禁止する。
  - また、スタンド入口側（トイレ側）は通路として使用するので、ベンチの設置は禁止する。
- 第二競技場内でのチームベンチの設置は禁止する。